

鹿児島県で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認(国内9例目)

【概要】

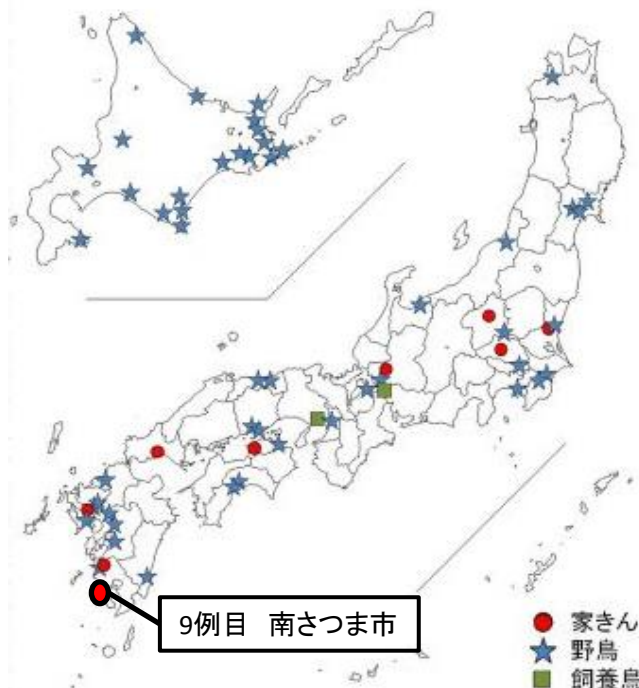
所在地:鹿児島県南さつま市

飼養状況:肉用種鶏(約5,400羽)

疫学関連農場:鹿児島県南さつま市
(1農場約7,600羽)

経緯:2月10日、死亡羽数が増加している旨の通報を受け、鹿児島県が立入検査を実施。簡易検査陽性であることが判明。

2月11日、遺伝子検査を実施結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。



⚠️ 引き続き、飼養衛生管理の確認と徹底をお願いします!

- ①衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒
- ②衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置・使用
- ③衛生管理区域に立ち入る車両の消毒
- ④家きん舎に立ち入る者の手指消毒
- ⑤家きん舎ごとの専用の靴の設置・使用
- ⑥野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ⑦ねずみ及び害虫の駆除

特に集卵ベルト・除糞ベルトと壁のわずかな隙間などからウイルスを持ち込む小動物が侵入する可能性があります。破損等がみられたら速やかに補修してください



<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori>

異常があればすぐに家畜保健衛生所に通報してください!!

★死亡率の急激な上昇(通常の2倍以上)

★鳥インフルエンザを疑うような症状(沈うつ、鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、5羽以上のまとまった死亡等)

東部家畜保健衛生所

Tel.0475-52-4101

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください